

K A W A K A M I D A M 2010
川上ダム通信 2・3月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
 〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

付替県道青山美杉線の一部区間供用開始

2月10日(水)、付替県道青山美杉線の一部区間を供用開始することができました。供用開始を迎えるにあたり、地元住民の皆様、三重県、伊賀市等関係機関の皆様には、多大なるご協力・ご支援をいただき、誠にありがとうございました。これまでいただきましたご協力・ご支援に対して心からお礼を申し上げます。

付替県道青山美杉線工事は、起点の伊賀市青山羽根から途中の伊賀市種生までを結ぶ全体延長約4kmの道路工事で、川上ダム建設に伴い水没する道路の機能回復を目的とするもので、三重県との合併施工として、道路の幅員が4m未満から7mに拡幅されております。

今回の供用開始は、起点の伊賀市青山羽根から途中の伊賀市川上までを結ぶ延長約2.5kmの道路工事が完成したことに伴い、当該区間を供用開始するものです。これにより、車両の通行がスムーズになり、安全性も向上することとなりました。

今回の一部区間供用開始は、川上ダム建設所にとって一里塚となりました。残り区間の工事につきましても、地元住民の皆様のご支援・ご協力を得ながら、進めて参りたいと思います。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

【工務課長 柳生光彦】

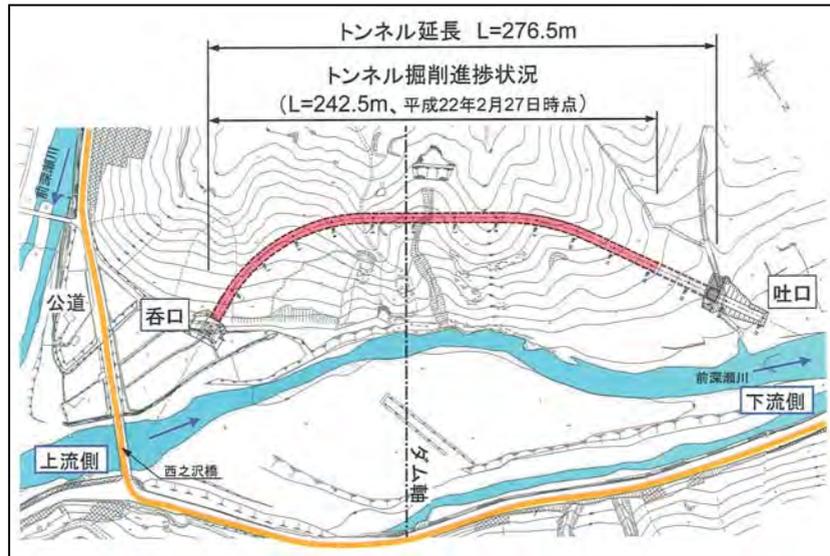
凡 例	
	供用済区間
	今回供用開始区間
	現 道



川上ダム建設予定地周辺の位置図

仮排水路トンネル工事進捗状況

現在、仮排水路トンネルの掘削は242.5m（平成22年2月27日現在）まで進み、全長の約88%（全長276.5m）の進捗になっており、引き続き、トンネルの内側をコンクリートで覆う作業に移ることとしています。予定として3月中にトンネルを貫通（トンネル掘削完了）させることを目指して進めています。工事区域周辺では騒音・振動を自動測定し、監視しながら工事を行っています。ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。【工事課長 山田雅勝】



仮排水路トンネル工事進捗状況

伊賀労働基準監督署と合同で安全協議会を実施

1月28日（木）、伊賀労働基準監督署から署長と安全専門官にお越しいただき、安全協議会を合同で開催しました。はじめに、安全専門官から平成21年に伊賀労働基準監督署管内で発生した労働災害状況や平成21年6月に改正された「労働安全衛生規則（足場等）」などについての講話をいただきました。その後の現場安全パトロールでは、工事現場における安全管理向上のためのご指導を受けるとともに、講評をいただきました。参加者は、伊賀労働基準監督署からの講話や講評に熱心に耳を傾け、労働災害防止に向けての決意を新たにしていました。川上ダム建設所安全協議会では、今後も無災害で事業を進捗できるよう、活動を進めて参ります。

【工務課 鶴牧美鈴】



労働災害防止に向けて



現場にて安全パトロールを実施

ISO14001環境マネジメントシステム更新審査 有効性ありと認定

2月18日(木)及び19日(金)の2日間、平成18年度末に認証取得したISO14001について、審査機関である財団法人日本品質保証機構より、更新審査を受けました。

今回は、過去3年間にわたっての環境活動内容及び当該システムが有効に機能しているかについて書面及び現地の各工事箇所や貴重種の保存状況を見ながら、審査を受け、適正に環境活動を行い、またシステムは有効に機能しているとの評価をいただきました。

来年度は認証を受けてから4年目となりますが、今回の更新審査を踏まえて、一層環境に配慮した事業を行って参ります。

【総務課 藤好健太郎】



システムの運用、改善状況を審査



建設現場の活動状況の確認

交通安全講習会

2月3日(水)、2月10日(水)に、三重県津市の三重県交通安全研修センターにおいて、交通安全講習会に参加しました。講習会では、三重県内の交通事故の発生状況や飲酒運転の危険性について講義がありました。その後、シミュレーターによる危険予測と緊急回避を体験し、日頃から常に危険を予測しながら運転することの大切さを学びました。屋外では、実車を使い、急ブレーキ、急制動による事故の緊急回避を体験しました。

講習会を通して、安全運転への意識を新たするとともに、より一層安全運転を心がけたいと思います。

【総務課 竹之内律子】



交通安全講習会を受講

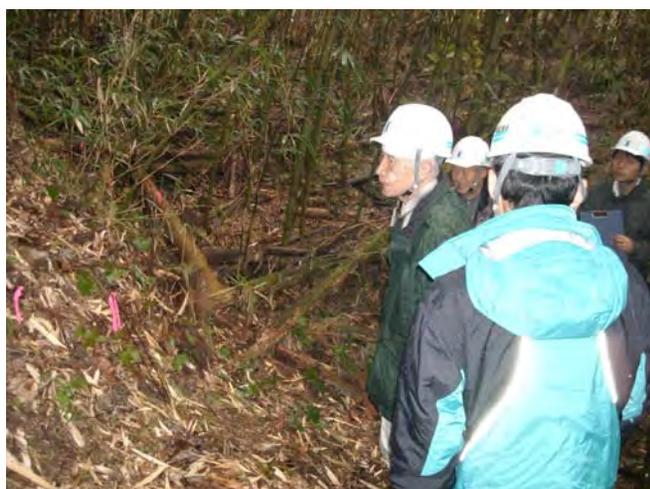
学識者による植物の現地指導を実施

川上ダムでは、工事に伴う植物への影響を低減するため、重要な植物の移植などの保全対策や、工事裸地への郷土種の移植などを実施しています。2月26日(金)に学識者から、その有効性について、現地で指導をいただきました。

その中で、土壁に移植した重要種については、土壌が崩れないよう玉石を積み上げて保護すること、アカマツは移植が難しいため播種の方が良いなどの指導をいただきました。

今後も、学識者の先生方からのこうした指導を得ながら、適切に植物の保全対策を実施して参ります。

【環境課 水野正明】



現地指導



播種状況の確認

EVENT

赤目梅林

赤目四十八滝に向かう県道沿いの山の斜面に約700本の白梅が並ぶ。

○日時／2月下旬～3月中旬

○場所：名張市赤目町長坂

近鉄赤目口駅から赤目滝行きバス7分長坂下車すぐ

○問い合わせ／社会法人名張市観光協会 TEL 0595-63-9087

兼好遺跡公園の梅

徒然草で有名な吉田兼好が葬られた地として現在は兼好遺跡公園となっており、園内の梅の開花シーズンには、観光客で賑わう。

○日時／2月下旬～3月上旬

○場所：兼好塚 近鉄青山町駅から高尾行きバス 15分種生支所下車徒歩 30分

○問い合わせ／伊賀市青山支所産業建設課
TEL 0595-52-3220

編集後記

3月に入り、少しずつ春めいてきました。伊賀、名張には、梅の名所があります。お花見に出かけてみては、いかがでしょうか。

【広報誌発行事務局】

編集長 及川 拓治 (川上ダム建設所長)

デスク 吉岡 直也 (総務課長)

〃 柳生 光彦 (工務課長)

通信記者 竹之内健太 (調査設計課)

〃 竹之内律子 (総務課)

〃 加藤 晶久 (第一用地課)



ISO14001 : 2004

JQA-EM5769

☆☆皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。
ハガキやメール等でお寄せください。☆☆
◇川上ダム建設所は ISO14001 を取得し、環境保全を推進しています。◇